

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立弘前聾学校	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	2年生で習う漢字		
	単元(題材)の目標	・漢字の正しい読み方や書き順を理解し書く。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	4 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・漢字の学習を楽しみにしており意欲は高いが、集中が途切れやすく、一人遊びしてしまうことがある。 ・書き順や画数を間違えることが時々見られ、間違えると癩癩を起こすことが多く、授業が中断することがある。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 小学2年生かんじ：ゆびドリル（書き順判定対応漢字学習アプリ）		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・学習意欲の向上。 ・新出漢字の正確な書字。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・教師の支援なしにiPadを操作し、新出漢字のなぞり書きに取り組むことができた。 ・集中して学習に取り組み、間違いが時々見られるものの、癩癩を起こさず落ち着いて活動することができた。 ・正しい書き順と画数を意識して書くようになったほか、とめ、はね、はらいに気を付けて書く様子も見られるようになった。			